



# GIGAスクール構想 実現に向けての 0（ゼロ）ステップ提案



岐阜聖徳学園大学 教授  
玉置 崇

# GIGAスクール構想の実現について

文部科学省初等中等教育局



文部科学省は、  
一人一台端末・高速通信環境を生かすために  
3ステップを提唱しています

# 「1人1台端末・高速通信環境」を活かした学びの変容イメージ

工夫次第で、  
学びの可能性は無限大に。

## 例えば...

- ・理科の授業で、観察・実験の際に、動画撮影で、振り返りやよりきめ細かな分析が可能。
- ・社会の授業で、各自で収集した様々なデータや地図情報をPC上で重ね合わせて深く分析。

## 例えば...

- ・検索サイトを用いて、授業テーマに応じて一人一人が様々な文章や動画を収集し、情報の真贋を判断し、整理する。
- ・一人一人が文章作成ソフトを活用し、推敲を重ねて長文のレポートを作成する。

## ステップ1

“すぐにでも” “どの教科でも”  
“誰でも”活かせる1人1台端末

## ステップ2

教科の学びを深める。  
教科の学びの本質に迫る。

## ステップ3

教科の学びをつなぐ。  
社会課題等の解決や  
一人一人の夢の実現に活かす。

令和2年5月22日 時点

GIGAスクール構想の実現について

文部科学省初等中等教育局



# 「1人1台端末・高速通信環境」を活かした学びの変容イメージ

工夫次第で、  
学びの可能性は無限大に。

例えば...

- ・理科の授業で、観察・実験の際に、動画撮影で、振り返りやよりきめ細かな分析が可能。
- ・社会の授業で、各自で収集した様々なデータや地図情報をPC上で重ね合わせて深く分析。

例えば...

- ・検索サイトを用いて、授業テーマに応じて一人一人が様々な文章や動画を収集し、情報の真贋を判断し、整理する。
- ・一人一人が文章作成ソフトを活用し、推敲を重ねて長文のレポートを作成する。

ステップ1は  
すぐにできま  
すか？

**ステップ1**  
“すぐにでも” “どの教科でも”  
“誰でも”活かせる1人1台端末

**ステップ2**  
教科の学びを深める。  
教科の学びの本質に迫る。

**ステップ3**  
教科の学びをつなぐ。  
社会課題等の解決や  
一人一人の夢の実現に活かす。

令和2年5月22日 時点

GIGAスクール構想の実現について

文部科学省初等中等教育局



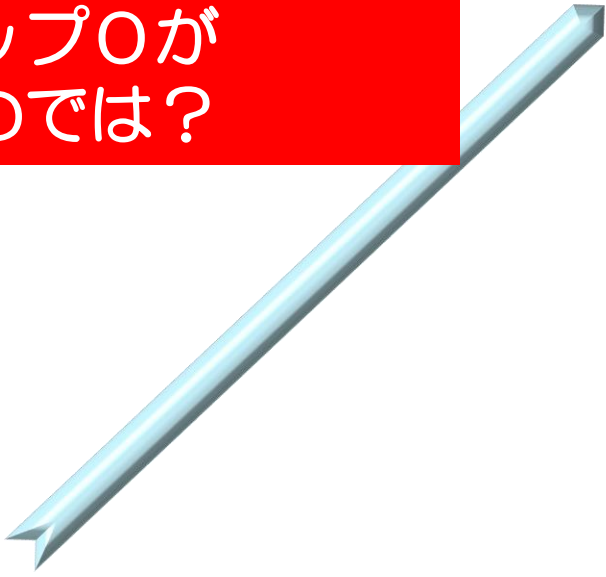
# 教員の「心の内」予想

- 
1. 一人一台P Cが入ったので授業で使ってくださいと言われても、研修もないのに…。さて、どうしたら…。
  2. P Cをよく使っている先生から学びましょうと言われても、授業を見合う時間はどこに？あの先生とは授業観が違うし…。さて、どうしたら…。
  3. P Cで資料を見せるだけでは、一人一台P Cを入れた意味がないと言われそう…。
  4. いつ学校が休校となってもいいように、子どもたちにP Cの活用法を指導してくださいと言われても…。

# 管理職の「心の内」予想

- 
1. 一人一台P Cが入ったので授業で使ってくださいと言ったものの、どの教室でも使われることは奇跡に近いかも…。さて、どうしたら…。
  2. いずれ委員会から稼働率についての調査がある。それまでに、どう手を打つかだ。さて、どうしたものか。
  3. うちの担任はせっかく入ったP Cを使うことがほとんどないのですよと、保護者から言われそうで…。さて、どうしたら…。
  4. 一人一台P C活用の指導助言を求められても、自分が経験したことがないのに助言はなかなかできない…。さて、どうしたら…。

ステップ1は  
すぐにできますか？  
ステップ0が  
いるのでは？



**ステップ1**  
“すぐにでも” “どの教科でも”  
“誰でも”活かせる1人1台端末

例えば...

- ・検索サイトを用いて、授業テーマに応じて一人一人が様々な文章や動画を収集し、情報の真贋を判断し、整理する。
- ・一人一人が文章作成ソフトを活用し、推敲を重ねて長文のレポートを作成する。

## ステップ0

“小学校1年生から中学3年生まで”  
“どの子どもたちも”

(特別支援学級、外国人児童生徒)

“システムが動き始めたその日から”  
活かせる一人一台端末

子どもが入力する  
→  
教師が見ること  
ここがステップ0

# ステップ0のためのクラウドアプリ

かんたん操作、毎日利用で  
1人1台端末の活用率 100%



心と学びの記録・  
振り返り支援システム

## スクールライフノート

※ 画面は開発中のものです。



## 活用イメージ

### 日々の可視化



朝や帰りに今の気持ちを  
天気为例えて登録

### 振り返り・気づき



日々の情報を子どもが  
客観的に振り返り

### 変化の見守り



先生が子どもの心情  
変化を簡単に把握可能

### 早期発見・対応



支援が必要な子どもの  
早期発見と指導

子どもが入力（心、学び） → 教師が見る（心、学び）

**心**の天気 = 自分の心を見つめる

教師は子どもたちの心の変化をとらえる

**学び**の天気 = 授業での振り返り、ポートフォリオ、  
メタ認知力向上

教師は「学びに向かう力」を捉える

授業改善への貴重な資料とできる



例えば**心の天気**では ...

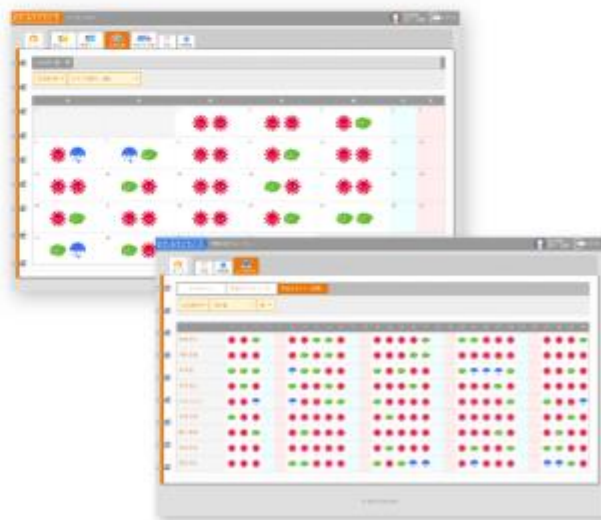


子どもと  
も っ と  
つながる

「いつも晴れだった子が今日は雨だけど、何かあったのかな？」

「くもりや雨が多かった子が、最近は晴れが増えてきたな。」

ベテラン教員の子どもたちのポジティブな変化やネガティブな変化を捉えて対応する力は、経験によるところが大きいと聞いております。そんな時ベテラン教員でなくとも入力された天気の変化から、学校生活での悩みやトラブル、学習面での落ち込みなどを可視化することで、アラートに早期に気が付くことができ、適切なタイミングでの声かけや支援ができるようになります。



# (例) 心の天気

教師は子どもへメッセージ発信をして子どもとつながる

名

前

期

日

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

子どもと教師がつながる  
コミュニケーションツール



ホーム



生活ノート



学習ノート



心の天気



学びの天気



予定



時間割



心の天気を選ぼう



朝



帰り

7月25日(土)

| 時限 | 科目 | 予定(持ち物・課題) | 天気    |
|----|----|------------|-------|
|    |    |            | 入力しよう |
|    |    |            | 入力しよう |
|    |    |            | 入力しよう |
|    |    |            | 入力しよう |
|    |    |            | 入力しよう |
|    |    |            | 入力しよう |
|    |    |            | 入力しよう |

ノートの新着



テスト

自分たちが今使っている言葉と、昔の言葉はこんなに違うのはなぜだ...

2020年06月12日(金) 1 3年1組 学習ノート/国語



テスト

宿題を家に忘れてきてしまった

2020年06月12日(金) 朝 3年1組 心の天気



テスト

2020年05月20日(水) 朝 2020新入社員研修 心の天気



テスト

さもち



はれ



くもり



あめ



かみなり

ひとことメモ

添付ファイル

+ ファイル選択

子どもの「天気」と「ひとことメモ」入力画面



心と学びの振り返りシステム

## スクールライフノート

- 心の天気 / 学びの天気
- 学習ノート / 生活ノート
- 共有ボード
- 学校生活ウォッチャー

※本ページで紹介している画面は一部開発中のものにつき、実際の仕様とは異なる場合があります。

スクールライフノートは、子どもたちが毎日、簡単な操作で学校生活のさまざまなことを記録し、「気づき」を可視化することができるシステムです。

子どもたちは、振り返りにより、自分を客観視して、コントロールできるようになる力（非認知スキル）を向上させ、「学びに向かう力」を育みます。

先生方は、子どもたちが記録した、「気持ち」の変化や揺れをクラスで俯瞰したり、個人の記録をクローズアップして確認することで、適切なタイミングでの「声掛け」や「支援」ができるようになります。さらに、先生自身の授業の振り返りに利用することで、授業力向上の一助となります。

# 学びに向かう力・人間性等



児童一人一人がよりよい社会や幸福な人生を切り拓いていくためには、主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等が必要となる。これらは、自分の思考や行動を客観的に把握し認識する、いわゆる「メタ認知」に関わる力を含むものである。

(小学校学習指導要領解説総則編，39ページ)



# 主体的に学習に取り組む態度



①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面という2つの側面から評価することが求められています。

後者は、自己調整学習の理論やモデルが基盤になっていると思われますが、やはりここでもメタ認知が鍵になります。なぜなら、学習者が自らの学習を調整するためには、まず、自らの学習状況を適切にメタ認知することが要求されるからです。

しかし、自らの学習方法や理解状況を適切にメタ認知することは、実は私たちが思っている以上に難しいものです。学習者が自らの学習状況を慎重に吟味したり、批判的に捉えたりといった機会を設け、適切なフィードバックを与えていく中で、このような態度やスキルを育成して必要があります。

(岩手大学教育学部 准教授 久坂 哲也)

## 「みんなで学ぶ」「1人で学ぶ」を 繰り返しながら自律した学習者に

**佐藤** 中学校の導入期指導で、生徒との信頼関係の構築に力を入れる取り組みをよくうかがいますが、学習にはどのような影響がありますか。

**伊藤** 自ら学ぶ力を育む過程では、教師と生徒との信頼関係、クラスづくりも重要になると考えています。先ほどの宿題の話でいうと、教師と生徒との人間関係が出来ていなければ、生徒は勉強を強制されたと感じ、嫌々ながら取り組みます。しかし、信頼している先生から与えられた課題なら「先生は自分のことを見てくれている」と受け止め、学びにも向かいやすくなると思います。特に中学生の初期は、教師や保護者が引っ張っていく場面がまだまだ必要です。しかし、思春期の生徒は心理的には微妙な段階にあり、頭ごなしに強制すると反発するでしょう。教師や保護者の言葉が生徒の心に届くには、人間関係の質が問われるのです。

京都教育大准教授  
伊藤崇達



子どもと  
もっと  
つながる

### つながりの重要性

友人・教員との「つながり」が、休校中における学習時間に関連していたことがわかった

#### ▶ 休校中の教員とのコミュニケーション

とれている 2時間35分

とれていない 1時間54分

#### ▶ 学校での他者との関係

築けている 2時間22分

築けていない 1時間25分



# 全学級での共通行動提案



心と学びの記録・  
振り返り支援システム

## スクールライフノート

※ 画面は開発中のものです。

全ての学級で朝あるいは帰りに「心の天気」を入力させましょう。

一つの教科（例 国語）を決めて、「学びの天気」と「ひとことメモ」を入力させましょう。

学級担任は、まずは「心の天気・学びの天気」を眺めます。  
学年主任は学年全体を、管理職は全校の「天気」を眺めます。

# 学校の快談

ホツとする  
いい話

最終回

## 「心の天気」で 子どもたちの気持ちを知る

文部科学省は、現在、子どもたち一人一人にコンピュータを渡し、学校での学びをより豊かにする施策を進めようとしています。すでにこれが現実化されている学校があります。その学校での取り組みを紹介します。

その学校では、私が発案した「心の天気」というシステムを使っていたいただいています。「心の

天気」は、子どもが登校したときや一日を終えたときに、システムを立ち上げて、今の自分の気持ちに「晴・曇・雨・雷」のいずれかのマークで示すだけの単純なものです。学級担任は自分の学級の子どもの「心の天気」、学年主任は学年全体、校長は全校の子どもの「心の天気」を手元のコンピュータで見ることができ

るようになっていきます。

たったこれだけのことなのですが、学校内に大きな変化が生まれてきています。子どもと先生の距離が、グッと縮まったのです。

例えば、前日「晴」だった子どもが、突然「雷」になることがあります。担任は、その理由を

聞きたくなります。「何かあったの？」とさり気なく聞いてみると、昨晚、家庭でスマホの使い方を厳しく怒られたとのこと。

そして、こう言った子どもがいたそうです。「先生に言ったら、すっきりしたよ」と。ちょっとしたことですが、「心の天気」がコミュニケーションを生み出すきっかけになっているのです。

実は、私のゼミ生も「心の天気」を毎日入力しています。この「心の天気」でゼミ生といつも結び付いているという感覚を持つことができ、学級担任時代を思い出しています。

ある学生が「雷」マークだったので、聞いてみると、バイト先で重要な役目をもらったの

に、うまく出来なかったことが「雷」の原因だったそうです。さつそくコメントを返して、その学生と会話をしました。

このことで「心の天気」は、とても良い仕組みだと感じました。言葉にならない気持ちを吐き出すことができる小さな避難場所です。この避難場所があることがどれだけ救いになることか。言葉にできない黒く重い気持ち、その人の心にずっと寓のように居続けます。その寓は自分一人の力では吐き出せません。そんな時にこの「心の天気」は大活躍すると感じています。

「晴、晴、晴と連日、晴が続いていた私ですが、とうとう雷になりました。私は、雷はイライラしたときの気持ちやどうにも言葉にできない気持ちを表すものだと思っています。

今日もゼミ生たちの「心の天気」を気にしている私です。

昨夜、雷になってしまいました。自分の情けなさや周りに対しての不満、自分で頑張っていると思っていた事を心ない言葉で否定されると、もう、何というか、言葉にできなくて。私の「心の天気」が雷になりました。



玉置 崇（岐阜聖徳学園大学教授）  
一九五六年、愛知県生まれ。愛知教育大学卒業後、愛知県公立小中学校教諭、愛知県教育委員会、愛知県公立中学校校長などを経て現職。